

卓友 12期生 高尾 弘



2001年 江戸崎CC 12期が8人そろって初めてのゴルフです。
12期 高尾健一提供 2001年 10月

2015年8月15日、靖国に行きました。西高卓球部が共に歩んだ戦後70年に思いを馳せ、猛暑の中、長蛇の列に並んで参拝しました。

私は昭和32（1957）年の西高入学です。入学当初に教室の黒板に書かれてあった「卓球部新入部員募集、体育館に来られたし！」につられて見学に行きました。（もちろん、当時すでに世界チャンピオンになっておられた荻村さんの事は心の中にありました。）それまで私は町の卓球場で遊んだことしかありませんでしたので、上級生の本格的な練習風景には気圧されましたばかりか、二人の新入生が一緒になって華麗に打ち合っているのを見てさらに気後れました。後の12期主将隅田と川久保（2014年没）です。

気を取り直して入部しました。多くの新入部員がいましたね。その中に凄い女子がいました。完成されたフォームから繰り出される鋭い打球を初めて見たときは目を見張りました。さらに分かった事です、彼女は卓球のほかに学習面でも優秀で、実力テスト成績優秀者50人の常連さんにとどまらず上位10番にも名を連ねるまさに才色を兼ね備えた人、上野淑子でした。私など尻込みするだけでしたが、無謀にもそんな彼女を好きになってしまう者がいました。そいつは今でも酔うと当時を振り返り、その種の事を口にします。

最後まで部に残ったのは前述3人の他に、実力者佐野、ショートマン斉木、スマッシュ堀川、プー伊藤そして私です。この8人は長じてからもゴルフや食事会と交流を欠かしません。最近では、2014年に一人亡くしましたが、数年前から毎年4月の観桜会を恒例にしております。きっとこれからも続くことでしょう。同級生には功利も損得もありません。社会的な上下関係も存在しません。そんな私たち12期生はまもなく後期高齢者になります。来し方を振り返りますと一見どうでもよさそうなこの仲良しが、各自の家庭や実生活にもたらした貴重な知恵とその恩沢は計り知れません。

話変わりますが、40期の高尾健一は私の長男です。親子での西高卓球部は珍しいかなと思って報告します。彼も荻村さんと面識があったそうで、浪人時代にK塾に通っていた頃、千駄ヶ谷駅付近でお会いした折りに「がんばれ」と励まして頂いたそうです。1994年12月、荻村さんとのお別れの日の護国寺、私ども親子はそろってお見送りしました。

